

一次仮置き場の例（宮城東部ブロックの例）



図1 金属の分別状況



図2 タイヤの分別状況

参考資料「二次仮置き場と一次仮置き場との連携」関連

出典：環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課通知

事 務 連 絡

平成 23 年 5 月 19 日

関係県廃棄物行政主管部（局）御中

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課

仮置き場における留意事項について

災害廃棄物の円滑な処理のためには、仮置き場の適正な管理が求められます。今般、仮置き場の管理に関する追加的な留意事項を下記の通りとりまとめました。これらについて御配慮いただくとともに、貴管内の市町村に対して周知をお願いします。

記

1. 仮置き場の確保について

東日本大震災では津波により、海底の土砂や汚泥が広範囲にわたって打ち上げられている一方、多くの建築物等が海に流されています。これらの中には、撤去作業の着手に時間を要するものもことから、ある程度時間が経過した後に、廃棄物として撤去がなされる場合もあると考えられます。

このように長期にわたって災害廃棄物が発生することもあるため、関係者と十分協議し、適切な期間仮置き場を確保することについても御留意いただきますようお願いいたします。

2. 廃棄物の積み上げ高さについて

仮置場で可燃物を高く積み上げると、微生物の働きによりメタンガスが発生し、火災を引き起こすおそれがあります。可燃物や木くずは、発火や発熱の防止の観点から、5メートル以上の高さに積み上げることは避けるべきという報告があります*。

そこで、仮置場での火災発生の防止のため、平成23年5月10日付け事務連絡「仮置場における火災発生の防止について」を踏まえることとして、積み上げ高さについても十分配慮していただくようにお願いします。

*「仮置場の設置と留意事項（第1報）」（震災対応ネットワーク）

震災対応ネットワークとは：災害で発生した廃棄物や被災地の生活で発生する廃棄物等について、技術的観点から支援することを目的とした全国の大学、国及び地方の研究機関、自治体、関連団体、民間等の知識・技能を有する方々のネットワーク）

<http://www.nies.go.jp/shinsai/index.html>

【本件に関する連絡先】

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

廃棄物対策課 高橋、宮田

TEL 03-5521-8358（直通）、FAX 03-5521-8359

E-mail hairi-haitai@env.go.jp

参考資料「二次仮置き場と一次仮置き場との連携」関係
宮城県環境生活部震災廃棄物対策課作成資料

ダンプ等調達台数
(特定業務共同企業体 (JV) 発注分)

車種	台数 H25.3時点	台数 H25.8時点
大型深ダンプ	265	327
大型平ダンプ	501	613
4t平ダンプ	4	3
大型アームロール車	45	36
4tアームロール車	5	4
大型ダンプトレーラー	21	12
32t重ダンプ	1	1
不整地運搬車	1	1
計	843	997

※表中の「大型」とは積載量 8t 超のものを指すが、大部分がいわゆる 10 t 車である。

※なお、気仙沼ブロック、石巻ブロック及び宮城東部ブロックでは船舶（ガット船等）を使用して離島等から災害廃棄物を運搬した。